

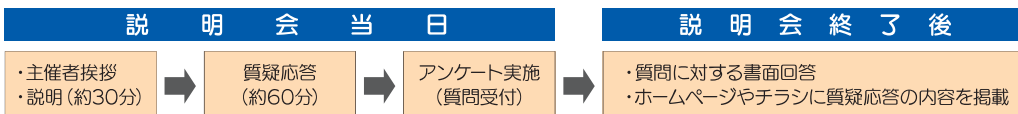
発電所の周辺市町にお住まいの皆さまへの説明会を開催しました

新規規制基準の概要や東海第二発電所の適合性審査の申請内容および安全対策の取り組み状況などをご説明させていただきました。多数のご参加をいただき、ありがとうございました。今回は、説明会の概要、皆さまからのご質問やアンケート結果などについてお知らせします。

説 明 会 の 概 要

- 開催期間 平成26年10月7日 ～ 平成27年1月24日
- 対象 発電所の周辺市町にお住まいの皆さま
日立市、常陸太田市、ひたちなか市、那珂市、水戸市、常陸大宮市、大洗町、城里町、茨城町、笠間市、鉾田市、高萩市、大子町、小美玉市
- 開催数(参加者数) 43回(3,387名 男性2,569名、女性818名)
- 主な説明内容
 - ・新規規制基準の概要
 - ・地震の評価、津波の評価と対策
 - ・自然災害や外部火災の評価と対策
 - ・発電所内での火災対策
 - ・電源確保および冷却手段の多様化対策
 - ・震災時の東海第二発電所の状況
 - ・各種訓練の状況
 - ・フィルタ付ベント装置の目的と効果
 - ・緊急時の体制および運用

●説明会の流れ



◆当社の安全対策について、ご説明させていただきました



◆皆さまからのご質問に対し、回答させていただきました

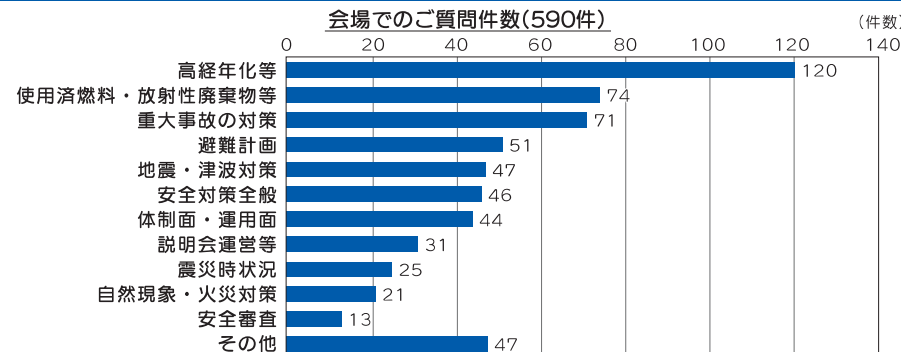


当社ホームページから新規規制基準への対応に関する公開資料、説明会での主なご質問・ご意見などがご覧になれます。
<http://japc.co.jp/shinsei/tokai/index.html>



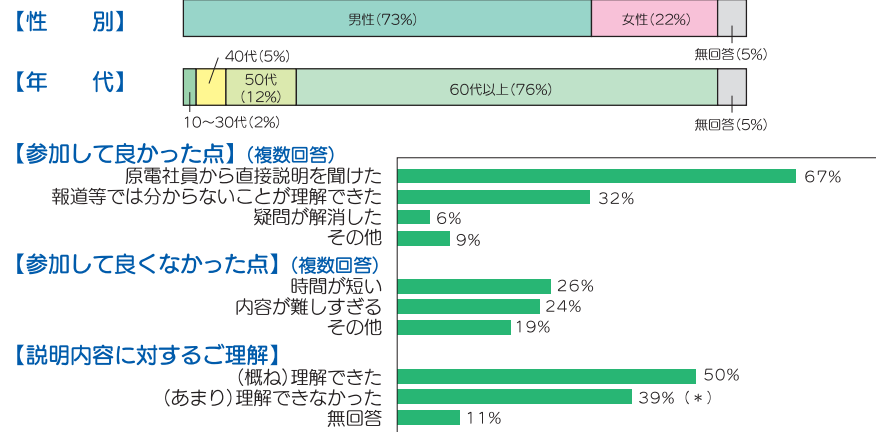
◆新規規制基準への適合性確認審査については、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません。今後とも、地域の皆さまに積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります。◆

皆さまからのご質問



アンケート結果

回収数 2,713枚 回収率 約80%



* 主な項目：重大事故対策、避難計画、テロ対策や廃棄物の処理処分

【今後お知りになりたい項目】

・使用済燃料の管理、安全審査の状況、防潮堤など工事の進捗状況、避難計画や廃炉など

多くのご意見・ご質問、また、アンケートへのご協力ありがとうございました。
いただいたご質問やご意見を発電所の運営等に役立てていくとともに、アンケート結果を踏まえ、ご理解いただけなかった項目や今後お知りになりたい項目について、広報紙やご説明などを通じて、わかり易い情報提供に努め、ご理解いただけるよう取り組んでまいります。



説明会において皆さまからいただいた主なご質問について

Q：東海第二発電所は原則40年の運転制限に近づいているが、安全上、問題ないのか？ また、今後はどう対応するのですか？

A：東海第二発電所は、運転から30年が経過する前に、当時の法令等に基づき、安全機能を有する機器・構造物について高経年化技術評価を行い、仮に長期の運転（60年間）をしたとしても、設備の健全性が保たれることを確認し、2008年に国から妥当であると判断されています。
現在、新規制基準を踏まえた安全対策が新規制基準に適合しているかについて、国の審査を受けており、まずはその審査対応に全力を傾注しているところです。

Q：航空機などによるテロ攻撃には、どのように対応するのですか？

A：米国同時多発テロ事件の発生以降、警備当局が24時間体制で原子力関連施設を警戒しています。また、発電所は、原子炉等の破壊や核燃料の盗取を防ぐため、強固な出入口扉や侵入者を早期に発見するための設備を設置するとともに、警備員による立入者の本人確認や、車両、携行品の厳格な検査など、24時間体制で監視を行っています。万が一、意図的な航空機の衝突などにより、大規模な事故が発生した場合には、大容量ポンプ車、可搬型放水装置などを用いて、原子炉格納容器への注水や火災の消火などを行います。また、電源や給水設備がすべて使用できなくならないように分散配置します。さらに、バックアップの制御室や電源・水源を備えた施設（特定重大事故等対処施設）の設置を予定しています。

Q：避難計画は、どうなっているのですか？ また、住民への情報提供は、どのようになっているのですか？

A：避難計画については、法令等に基づき茨城県や各自治体が策定することとされています。事業者である当社としても、避難計画の策定作業や実際の運用に積極的にご協力させていただくものとしており、自治体と相談しながら取り組んでまいります。
住民の皆さまへの情報提供については、当社から国のオフサイトセンターへ報告した情報に基づき、国が決定した避難指示や発電所の状況などを含む情報が、同センターから各自治体に発信され、住民の皆さまへ伝達されます。また、当社としては、報道機関、ラジオやホームページを通じて発電所の状況や放射線レベルなどの情報を随時提供します。さらに、社内に住民の皆さまへの広報窓口を設置し、情報提供を行っています。

皆さまからの主なご意見・ご要望

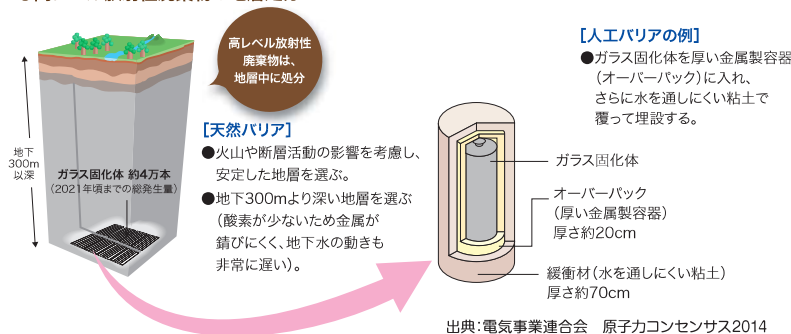
- 原子力は、止めたから安全だということは絶対にない。一生懸命、色々なノウハウを積んでいただいて、これから将来、我々の子孫のために、是非頑張ってください。
- 私は、原子力発電は必要だと思っている。日本が年間3兆円以上の燃料費の支出により、赤字を出していることを考えると、原子力発電は稼働したほうが、国家的にプラスと考えている。
- 海外を見ても原発は増加している。中国も増やしていく。日本は原子力の先進国であり、その技術で海外に貢献するために是非推進してほしい。
- 東海村が日本の原子力発電所の模範となるように是非お願いしたい。原子力は必要だと思っているので、是非安全面を十二分にやって、前へ進めるようやっていただきたい。
- 米国では、避難計画のない原発は動かせない。東海第二の周辺30km圏に全国最多の96万人の人々が暮らしている。地域の避難計画、要援護者の避難方策もなく、大渋滞が予想される高速道路の利用など、実効性のない避難計画では、原発の再稼働など絶対に認められない。
- 我々は全くの素人であり、安全に対する専門的知識もない。一回くらい説明を聞いて「はいわかりました」とか「了解しました」とは言えない。このことは重く受け止めていただきたい。
- 使用済燃料の廃棄方法がまだに確立されていないのに、これから原発を継続するというのはどういうことかと思う。
- 東海発電所の廃炉作業が先だと思う。その技術は非常に大切であり、全国的にも展開できる事業なので、電気を売る事よりも安全に廃炉を進める事が会社としても重要。

※説明会でいただいたご意見・ご要望を参考にさせていただき、発電所の運営等に役立てていくとともに、今後いろいろな形や場を捉えてご説明していくことを考えております。

Q：高レベル放射性廃棄物の処分方策が決まっていらないのではないですか？

A：現在、使用済燃料は、青森県六ヶ所村で建設中の再処理施設で処理し、再度燃料として加工する計画です。使用済燃料を再処理する過程で発生する放射能レベルの高い廃液が、「高レベル放射性廃棄物」です。この高レベル放射性廃棄物を、化学的に安定した「ガラス固化体」に加工し、30年から50年間冷却したあと、300mより深い地下に「地層処分」する計画です。
ガラス固化体は、放射能が強く人体に影響のないレベルに弱まるまで数万年以上かかります。このため、人間の管理に頼らない方法として、高レベル放射性廃棄物を人間の生活環境から隔離する地層処分が国際的にも共通した考え方になっています。現在、独立行政法人日本原子力研究開発機構により高レベル放射性廃棄物の地層処分技術や深地層に関する研究開発が進められています。なお、最終処分地の選定については、現在、国が最終処分に向けたプロセスの見直しについて検討を進めています。

●高レベル放射性廃棄物の地層処分



■新規制基準の適合性に係る審査の状況について

原子力規制委員会による、東海第二発電所の新規制基準への適合性を審査する8回目の会合が、2月13日に開催されました。会合では、当社から敷地周辺や近傍の地質・地質構造について説明しました。原子力規制委員会からは、断層の地質性状等について質問がありました。内容については当社ホームページをご覧ください。



東海テラパークからのお知らせ



当社では、説明会以外でも、東海テラパークにご来館いただいた皆さまには、発電所の仕組みや福島事故を教訓とした安全対策の取り組みについてご案内しております。

イベントのご案内

3月8日（日）9時～16時

「春のほかほか
テラちゃんまつり」

～どなたでもご来場いただけます～
詳しくは東海テラパークまで
お問い合わせください

善ちゃんの笑ってタメになるサイエンスショー

日本テレビ「**17時54分DASH!!**」で大活躍！
お笑い・音楽・マジックの善ちゃん、今春は「春のほかほか」を開催します！
① 開場 10:45/開演 11:00
② 開演 13:45/開演 14:00
※ 観覧券の購入は、東海テラパークの受付にておこなわれます。

自由工作 コケコッス

コケコッスを履いて、
春の足音をリズムで表現しよう！
9:00～16:00
（入場は15:30まで）
※ 観覧券
◆ 対象：小学生以下

自由工作 ふわふわボール

ストローを使って、
ボールのふくらみを作ろう！
9:00～16:00
（入場は15:30まで）
※ 観覧券
◆ 対象：小学生以下

館内クイズ

9:00～16:00
クイズの答えを
館内各所に掲示
※ 観覧券
◆ 対象：全館共通

東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1
電話 029-287-1252
開館時間 9時～16時30分
入館料 無料
休館日 年末年始（12/29～1/3）

お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社
茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ（PC・スマホ）
http://www.japc.co.jp/